



学校だより

自立真明 Part2

学校教育目標

自立心に富んだ 共に学び合う子の育成

第4号 令和元年5月9日

鯖江市神明小学校
校長 加藤 健二

5月1日に改元され、「令和元年」が始まりました。今年のゴールデンウィークは10連休となり、連休中や連休明けの子どもたちのことが心配でしたが、連休中大きな事故等も無く、7日（火）には「おはようございます」と元気なあいさつを交わし、令和元年の学校生活を始めることができ嬉しく思います。今週から、18日（土）の体育大会に向けての練習が始まるため、体操服登校となっています。寒暖の差が激しいので、長短の体操服で調整しながらの体調管理などにご協力よろしくお祈いします。



7日は、神明地区の民生委員・児童委員の皆さんがあいさつ運動をしてくださいました。民生委員・児童委員さんともハイタッチする子が増えました。

★体育大会応援練習始まる★・・・「限界とっば 元気ばく発 神明っ子」

今年18日（土）に、「限界とっば 元気ばく発 神明っ子」のスローガンのもと、体育大会を開催します。7日（火）の神明っ子集会では、縦割り班で組織された体育大会の色ごとに集合し、対面式を行いました。6年生はリーダーとして前に並び自己紹介した後、リーダーの指導で応援歌などの練習を始めました。応援時間は3分程度となっており、8日（水）からは本格的に応援の練習を行っています。6年生は4月から内容を考え、放課後に準備・練習を行っています。6年生は体育大会でのリーダーとして活動を通して、さらに成長をしていくことを期待しています。



赤組



黄組



白組



青組

なお、各色の団結力を高め、意識を鼓舞するスローガンは

バラのように美しく咲きほこれ
それいけ赤組！！

今日から黄組 絶対勝つドン

白馬のように
すばやくかけぬける

3年青組
～今から青組は優勝です～

そして、各色をまとめる色長、副色長、応援団長、応援副団長は



色長 三村 龍輝さん
副色長 瓜生 守直さん
村瀬あさぎさん
応援団長 吉村 碧さん
応援副団長 北野 佑佳さん
浦田 量さん



色長 木戸口将大さん
副色長 田邊 乃愛さん
応援団長 加藤 悠樹さん
応援副団長 加藤 祈さん
大澤あかりさん



色長 木村 大雅さん
副色長 金丸 葉奈さん
応援団長 笹原 梗介さん
応援副団長 内田 湊太さん



色長 小山 遥さん
副色長 笠島 梗乃さん
応援団長 川嶋 璃乃さん
応援副団長 若泉 唯来さん
竹内 啓さん

★マダニに気をつけて★・・・かまれたような症状はありませんか？

8日（水）にマダニにかまれ、病院を受診したという事例がありました。学校敷地内にいた可能性があり、学校では草刈りをしたり、草むらに肌を露出した状態の服装では入らないようにしたり対策をとります。マダニは、民家の庭、畑、あぜ道などにも生息しています。鳥などの野生動物にくっついてくる場合もあるようです。家庭でも気をつけていただきますようお願いいたします。また、お子様にマダニにかまれたような症状がないかの確認をお願いします。もし、かまれたような症状がありましたら、担任に報告をお願いします。

マダニの生態



ほくろのように見えるかもしれません。マダニにかまれていたら、自分でとらずに、病院で処置してもらった方がいいそうです。

マダニは8本脚からなる節足動物で、昆虫ではなくクモやサソリに近い生き物です（昆虫は6本脚）。一般に家の中に住むダニ（イエダニやヒゼンダニなどの微小ダニ）とは違って固い外皮に覆われ、大きさは吸血する前のもので約3～4mm（フタゲチマダニの場合）、イエダニといった微小ダニの約8～10倍に相当します（微小ダニの大きさは約0.2～0.4mm）。日本に分布するマダニのうち、フタゲチマダニ、ヤマトマダニなどの約20種類が犬に寄生します。

マダニの唯一の栄養源は、動物の血液です。幼ダニ・若ダニは発育・脱皮のため、成ダニは産卵のために吸血します。その吸血の際に、原虫やウイルス、リケッチア、細菌などさまざまな病原体の重要なベクター（媒介者）となることがあります。

★ヘルメット着用の義務化★・・・あごひもをしっかりとすることが大切！



そだての会 城本会長

4月26日（金）のそだての会総会のあいさつの中で、城本会長さんが自転車乗車時のヘルメット着用の義務化についてお話をされました。8日（水）に滋賀県大津市で、信号待ちをしていた保育士と保育園児の列に事故のはずみで車が突っ込み、園児が亡くなるという痛ましい事故がありました。また、全国で運転ミスによる事故も多発しているように思います。交通ルールを守り、自ら危険を回避することはもちろんですが、万が一の場合にも命を守るために最善を尽くすことは大切です。その一つとして、自転車乗車時には必ずヘルメットを着用するようにしてください。ヘルメットを着用していても、正しく着用しないと身を守れません。正しい角度でかぶり、乗車

中や万が一の事故の際にヘルメットが外れてしまわないようにあごひもをしっかりと調整することが重要です。



あごとあごひもの間に、人差し指一本が入るように調節しよう！

あぶないよ！



自転車ヘルメットは正しくかぶらないと頭や体を守れません



正しいかぶりかたを Check⇒

自転車ヘルメットのかぶりかた



Check Sheet

自転車ヘルメットを正しくかぶって安全運転、楽しく乗ろう！

- おでこは出さず眉毛の上あたりまで深めにかぶる
- 耳が外に出るよう耳紐を顔に沿わせて止める
- あごと紐の間は、指が一本入る程度の余裕がある
- 二本の紐が交差するV部分中央に耳が収まっている
- 横から見てヘルメットが水平になっている
- アジャスター or サイズ調整パッドで頭にフィットしている
※調整してもグラグラ動く場合はサイズが合っていない